



平成23年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成23年8月3日

上場取引所 東

上場会社名 ヤマハ発動機株式会社

コード番号

7272

URL <http://www.yamaha-motor.co.jp/profile/ir/index.html>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 柳 弘之

問合せ先責任者 (役職名) 財務部長 (氏名) 石井 武夫 TEL 0538-32-1103

四半期報告書提出予定日 平成23年8月8日 配当支払開始予定日 ー

四半期決算補足説明資料作成の有無：有

四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家・証券アナリスト・報道関係者向け）

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年12月期第2四半期の連結業績（平成23年1月1日～平成23年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年12月期第2四半期	663,132	△1.9	41,543	18.6	48,784	11.4	28,960	21.8
22年12月期第2四半期	676,166	16.7	35,030	—	43,808	—	23,776	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年12月期第2四半期	82.96	82.95
22年12月期第2四半期	76.68	76.68

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年12月期第2四半期	1,000,787	345,656	30.9	885.82
22年12月期	978,343	310,809	28.0	785.61

(参考) 自己資本 23年12月期第2四半期 309,234百万円 22年12月期 274,252百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00
23年12月期	—	0.00	—	—	—
23年12月期（予想）	—	—	—	20.00	20.00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無：有

3. 平成23年12月期の連結業績予想（平成23年1月1日～平成23年12月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,350,000	4.3	68,000	32.5	78,000	17.9	35,000	91.3	100.26

(注) 当四半期における業績予想の修正有無：有

4. その他（詳細は、添付資料6ページ「2. その他の情報」をご覧ください。）

- (1) 当四半期中における重要な子会社の異動 : 無

(注)当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

- (2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 : 有

(注)簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

- (3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

- ① 会計基準等の改正に伴う変更 : 有

- ② ①以外の変更 : 無

(注)「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

- (4) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

23年12月期 2 Q	349,757,784株	22年12月期	349,757,784株
23年12月期 2 Q	661,687株	22年12月期	660,749株
23年12月期 2 Q	349,096,462株	22年12月期 2 Q	310,052,002株

- ② 期末自己株式数

- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- (1) 本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、現時点において入手可能な情報に基づき、当社が合理的であると判断した見通しであり、実際の業績は、経営環境の悪化、市場の需要動向、為替の変動等のリスク、不確実性等の要因により、大きく異なる可能性があります。リスク、不確実性等の要因に関する詳細は、当社の第76期有価証券報告書(平成23年3月25日提出)に記載していますのでご参照下さい。また、業績予想に関しては添付資料5ページ「(3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご参照下さい。

- (2) 配当に関しては添付資料6ページ「(4) 利益配分に関する基本方針及び当期の配当」をご参照下さい。

- (3) 億円の単位の表示は、億円未満を四捨五入しています。

○添付資料の目次

《売上高のセグメント別情報》	2
1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	3
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	3
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	5
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	5
(4) 利益配分に関する基本方針及び当期の配当	6
2. その他の情報	6
(1) 重要な子会社の異動の概要	6
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	6
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	6
3. 四半期連結財務諸表	7
(1) 四半期連結貸借対照表	7
(2) 四半期連結損益計算書	9
第2四半期連結累計期間	9
第2四半期連結会計期間	10
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	11
(4) 継続企業の前提に関する注記	12
(5) セグメント情報等	12
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	17
(7) その他の注記事項	17
4. (参考)四半期個別財務諸表	18
(1) (要約)四半期貸借対照表	18
(2) (要約)四半期損益計算書	18

※ 当社は、以下のとおり四半期決算説明会を開催する予定です。この説明会で配布する資料は、開催後速やかに当社ホームページに掲載します。なお、動画は説明会の翌日以降に掲載する予定です。

・平成23年8月3日(水)・・・機関投資家・証券アナリスト・報道関係者向け決算説明会

《売上高のセグメント別情報》

(単位：千台、百万円)

セグメント		(参考) 前第2四半期連結累計期間 (自平成22年1月1日 至平成22年6月30日)			当第2四半期連結累計期間 (自平成23年1月1日 至平成23年6月30日)			当第2四半期連結会計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)			
		数量	金額		数量	金額		数量	金額		
			構成比%			構成比%			構成比%		
合計	日本	—	72,762	10.8	—	69,763	10.5	—	35,587	10.3	
	海外	—	603,404	89.2	—	593,368	89.5	—	308,947	89.7	
	地域別内訳	北米	—	87,545	12.9	—	88,645	13.4	—	43,828	12.7
	欧州	—	102,910	15.2	—	90,862	13.7	—	51,652	15.0	
	アジア	—	327,918	48.5	—	321,473	48.5	—	166,530	48.3	
	その他	—	85,029	12.6	—	92,386	13.9	—	46,935	13.7	
	合計	—	676,166	100.0	—	663,132	100.0	—	344,534	100.0	
二輪車	日本	51	20,014	(4.2)	55	18,795	(4.1)	29	9,878	(4.1)	
	海外	3,427	460,458	(95.8)	3,414	443,469	(95.9)	1,751	232,655	(95.9)	
	地域別内訳	北米	35	24,050	(5.0)	31	19,840	(4.3)	15	9,848	(4.1)
	欧州	135	69,473	(14.5)	108	55,414	(12.0)	64	32,541	(13.4)	
	アジア	3,045	310,343	(64.6)	3,008	304,068	(65.8)	1,533	156,769	(64.6)	
	その他	211	56,590	(11.7)	268	64,145	(13.8)	139	33,495	(13.8)	
	合計	3,478	480,473	71.1	3,469	462,264	69.7	1,780	242,533	70.4	
マリン	日本	—	11,200	(11.7)	—	11,141	(10.9)	—	5,912	(11.5)	
	海外	—	84,615	(88.3)	—	90,900	(89.1)	—	45,492	(88.5)	
	地域別内訳	北米	—	40,862	(42.6)	—	45,380	(44.5)	—	21,819	(42.4)
	欧州	—	23,354	(24.4)	—	25,501	(25.0)	—	14,402	(28.0)	
	アジア	—	4,479	(4.7)	—	4,940	(4.8)	—	2,405	(4.7)	
	その他	—	15,919	(16.6)	—	15,078	(14.8)	—	6,865	(13.4)	
	合計	—	95,816	14.2	—	102,041	15.4	—	51,405	14.9	
特機	日本	—	5,613	(12.6)	—	5,389	(12.0)	—	3,141	(13.6)	
	海外	—	38,791	(87.4)	—	39,375	(88.0)	—	19,893	(86.4)	
	地域別内訳	北米	—	21,994	(49.5)	—	22,555	(50.4)	—	11,595	(50.3)
	欧州	—	7,706	(17.4)	—	8,005	(17.9)	—	3,803	(16.5)	
	アジア	—	3,200	(7.2)	—	3,074	(6.9)	—	1,765	(7.7)	
	その他	—	5,889	(13.3)	—	5,739	(12.8)	—	2,728	(11.9)	
	合計	—	44,405	6.6	—	44,765	6.8	—	23,035	6.7	
その他	日本	—	35,933	(64.8)	—	34,437	(63.7)	—	16,653	(60.4)	
	海外	—	19,537	(35.2)	—	19,622	(36.3)	—	10,906	(39.6)	
	地域別内訳	北米	—	637	(1.1)	—	868	(1.6)	—	565	(2.1)
	欧州	—	2,376	(4.3)	—	1,941	(3.6)	—	905	(3.3)	
	アジア	—	9,894	(17.8)	—	9,390	(17.4)	—	5,589	(20.3)	
	その他	—	6,629	(12.0)	—	7,422	(13.7)	—	3,846	(13.9)	
	合計	—	55,471	8.1	—	54,060	8.1	—	27,560	8.0	

(注) 前第2四半期連結累計期間の数値は、当期のセグメントに基づき組み替えて表示しています。

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期(4～6月)の経済環境は、回復基調が見られた米国経済の停滞、欧州財政危機の深刻化など先進国を中心に景気回復のペースに鈍化が見られました。また、新興国は引き続き成長していますが、景気過熱感から、物価上昇や金融引き締め動きも見られます。日本においては円高が継続する一方、サプライチェーンの回復など、経済活動は東日本大震災による急激な落ち込みからの持ち直しの動きが見られました。

このような中、当第2四半期(4～6月)の売上高は、円高による為替換算や震災の影響などにより3,445億円(前年同期比5.9%減少)となりました。利益面においては、構造改革によるコスト削減効果や製造物賠償責任引当金の戻入はあったものの、為替換算影響や販売減などにより営業利益は209億円(同12.7%減少)、経常利益は225億円(同20.5%減少)、四半期純利益は155億円(同4.6%減少)となりました。

当第2四半期累計(1～6月)では、売上高は6,631億円(前年同期比1.9%減少)となりましたが、利益面では、為替換算や震災による影響はあったものの船外機などの販売回復や構造改革によるコスト削減効果などにより、営業利益は415億円(同18.6%増加)、経常利益は488億円(同11.4%増加)、四半期純利益は290億円(同21.8%増加)となりました。

○ セグメント別の概況

〔二輪車〕

当第2四半期(4～6月)の売上高は、流通在庫適正化のため出荷調整を行ったインドネシア、また欧州の販売減や、円高による為替換算影響などにより2,425億円(前年同期比6.8%減少)となりました。営業利益も販売減及び円高の影響などにより、103億円(同36.6%減少)となりました。

当第2四半期累計(1～6月)では、中南米などでの販売は増加したものの、欧州・アジアでの販売減や円高による為替換算影響などにより、売上高は4,623億円(同3.8%減少)、営業利益は236億円(同20.2%減少)となりました。

〔マリン〕

当第2四半期(4～6月)は、ロシア・ブラジルなどでの船外機の販売は増加したものの、為替換算影響や、震災に伴う供給遅れによる米国での販売減などにより、マリン事業全体の売上高は514億円(前年同期比2.7%減少)、営業利益は17億円(同43.6%減少)となりました。

当第2四半期累計(1～6月)では船外機やウォータービークルの需要回復などにより、売上高は1,020億円(同6.5%増加)、営業利益は59億円(同40.9%増加)となりました。

〔特機〕

当第2四半期(4～6月)は、北米での四輪バギーの販売減及び為替換算影響により、特機事業全体の売上高は230億円(前年同期比4.5%減少)となりました。営業利益は製造物賠償責任引当金の戻入、構造改革によるコスト削減効果などにより51億円(同401.1%増加)となりました。

当第2四半期累計(1～6月)の売上高は、448億円(同0.8%増加)、営業利益は57億円(同98億円改善)となりました。

〔その他〕

当第2四半期(4～6月)は、電動アシスト自転車の売上高は増加したものの、震災の影響による自動車用エンジンの出荷減などにより、その他の事業全体の売上高は276億円(前年同期比4.7%減少)となり、営業利益は39億円(同2.9%増加)となりました。

当第2四半期累計(1～6月)の売上高は541億円(同2.5%減少)、営業利益は65億円(同17.4%増加)となりました。

なお、前年同期との比較は、前年同期の数値を当期のセグメントに基づいて組み替えたもので行っています。

(参考情報)

当第2四半期累計の所在地別情報(売上高には所在地間の内部売上高を含みます。)

〔日本〕

サーフェスマウンター、電動アシスト自転車などの販売が増加しましたが、震災の影響による自動車用エンジンの出荷減や為替円高影響などにより、当第2四半期累計(1～6月)の売上高は前年同期比6.8%減少の2,501億円となりました。営業損益は、構造改革によるコスト削減効果はあったものの、売上高減少及び為替円高影響などにより52億円の営業損失(同59億円減少)となりました。

〔北米〕

マリン市場回復により、ウォータービークルや船外機を中心に販売が増加し、為替換算影響はあったものの、当第2四半期累計(1～6月)の売上高は962億円(前年同期比3.6%増加)となりました。営業利益は製造物賠償責任引当金の戻入れや構造改革によるコスト削減効果などにより58億円(同92億円改善)となりました。

〔欧州〕

ユーロ圏周辺国の財政問題を背景にした景気低迷により、二輪車や四輪バギーの販売が減少し、当第2四半期累計(1～6月)の売上高は915億円(前年同期比10.5%減少)となりました。営業利益は売上高の減少影響により24億円(同5.1%減少)となりました。

〔アジア〕

インド、ベトナムなどでの二輪車販売は引き続き増加しましたが、中国での排ガス規制の影響による販売減や為替換算影響などにより、当第2四半期累計(1～6月)の売上高は3,323億円(前年同期比0.9%減少)となりました。営業利益は299億円(同6.2%減少)となりました。

〔その他〕

ブラジルでの二輪車や船外機の販売増などにより、当第2四半期累計(1～6月)の売上高は786億円(前年同期比16.2%増加)、営業利益は89億円(同291.8%増加)となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期末の財政状態につきましては、流動資産が前期末比47億円、固定資産が同178億円増加したことにより、総資産は同224億円増加の1兆8億円となりました。また、株主資本が同287億円増加し、純資産合計は同348億円増加の3,457億円、自己資本比率は30.9%（同2.9ポイント改善）となりました。

当第2四半期（4～6月）のキャッシュ・フローにつきましては、営業活動によるキャッシュ・フローは売掛金の回収等による売上債権の減少及びたな卸資産の減少により286億円、投資活動によるキャッシュ・フローは△124億円となりました。これらにより、フリー・キャッシュ・フローは162億円となりました。また、財務活動によるキャッシュ・フローは△253億円となりました。

当第2四半期累計（1～6月）のキャッシュ・フローにつきましては、税金等調整前四半期純利益478億円及び法人税等の支払い202億円などにより、営業活動によるキャッシュ・フローは255億円となりました。また、投資活動によるキャッシュ・フローは△259億円となりました。これらにより、フリー・キャッシュ・フローは△4億円となりました。財務活動によるキャッシュ・フローは、短期及び長期借入金の返済などにより△155億円となりました。

これらの結果、当第2四半期末の有利子負債は前期末と同水準の3,224億円、現金及び現金同等物は1,886億円（前期末比153億円減少）となりました。なお、有利子負債には販売金融に関する借入金1,212億円が含まれています。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

為替円高水準の定着、原材料価格の更なる上昇、東日本大震災の影響を受けるなか、成長へ軸足を移すために研究開発を加速していることもあり、当社を取り巻く経営環境は非常に厳しい状況が続いています。こうしたなか、上半期の利益改善に加え、引き続き、中南米での二輪車事業、マリン事業全体の販売増及び構造改革によるコスト削減などが見込まれることから、通期連結業績は、当初予想を上回る見通しです。

	連結
売上高	13,500億円 (当初計画比 増減なし) (前期比 4.3%増加)
営業利益	680億円 (当初計画比 28.3%増加) (前期比 32.5%増加)
経常利益	780億円 (当初計画比 41.8%増加) (前期比 17.9%増加)
当期純利益	350億円 (当初計画比 75.0%増加) (前期比 91.3%増加)

(注) 当初計画比は、平成23年2月15日に発表した当期業績予想に対する増減です。

なお、下期の為替レートは、米ドル80円（当初計画比2円の円高、前期比4円の円高）、ユーロ110円（当初計画どおり、同1円の円高）、通期の為替レートは、米ドル81円（同1円の円高、同7円の円高）、ユーロ113円（同3円の円安、同3円の円高）の前提です。

(4) 利益配分に関する基本方針及び当期の配当

当社は、株主の皆様の利益向上を経営の重要課題と位置付け、グローバルな視点から世界各地で事業を展開し、企業価値の向上に努めています。

配当につきましては、配当性向を尺度として連結業績などを総合的に考慮しながら、長期的な視点に立った配当を基本方針とし、株主の皆様のご期待に応じてまいりたいと考えています。

平成23年12月期の期末配当については従来未定としていましたが、構造改革の着実な推進により業績が改善し、また財務体質の改善も見込まれることにより、復配の目処がついたものと判断し、連結当期純利益に対する配当性向20%をもとに、1株当たり20円の期末配当を実施させていただく方針といたしました。

2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

① 簡便な会計処理

(棚卸資産の評価方法)

当第2四半期連結会計期間末の棚卸高の算定に関しては、実地棚卸を省略し、前連結会計年度末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算定する方法によっています。

(固定資産の減価償却費の算定方法)

定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分する方法によっています。

② 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理

該当事項はありません。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

(「持分法に関する会計基準」及び「持分法適用関連会社の会計処理に関する当面の取扱い」の適用)

第1四半期連結会計期間より、「持分法に関する会計基準」(企業会計基準第16号 平成20年3月10日公表分)及び「持分法適用関連会社の会計処理に関する当面の取扱い」(実務対応報告第24号 平成20年3月10日)を適用し、連結決算上必要な修正を行っています。

当会計基準等の適用が損益に与える影響は軽微です。

(「資産除去債務に関する会計基準」の適用)

第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」(企業会計基準第18号 平成20年3月31日)及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日)を適用しています。

当会計基準等の適用が損益に与える影響は軽微です。

3. 四半期連結財務諸表
(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成23年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	189,334	205,362
受取手形及び売掛金	198,915	183,711
商品及び製品	127,179	136,308
仕掛品	44,065	37,423
原材料及び貯蔵品	39,811	39,903
その他	50,739	43,822
貸倒引当金	△6,352	△7,503
流動資産合計	643,693	639,028
固定資産		
有形固定資産	258,699	250,320
無形固定資産	4,024	4,247
投資その他の資産		
投資その他の資産	96,054	86,219
貸倒引当金	△1,683	△1,473
投資その他の資産合計	94,370	84,745
固定資産合計	357,093	339,314
資産合計	1,000,787	978,343
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	129,942	125,809
短期借入金	29,902	35,455
1年内返済予定の長期借入金	125,141	57,576
未払法人税等	3,236	8,282
引当金		
賞与引当金	9,547	8,800
製品保証引当金	30,440	28,356
その他の引当金	1,503	1,083
引当金計	41,491	38,241
その他	91,671	99,765
流動負債合計	421,385	365,131
固定負債		
長期借入金	167,385	229,410
引当金		
退職給付引当金	38,279	35,423
製造物賠償責任引当金	11,000	20,882
その他の引当金	1,312	1,529
引当金計	50,592	57,834
その他	15,766	15,156
固定負債合計	233,745	302,401
負債合計	655,130	667,533

(単位:百万円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成23年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	85,666	85,666
資本剰余金	74,582	98,147
利益剰余金	251,476	199,190
自己株式	△682	△681
株主資本合計	411,043	382,323
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	1,881	2,719
土地再評価差額金	10,186	10,186
為替換算調整勘定	△113,876	△120,977
評価・換算差額等合計	△101,808	△108,070
新株予約権	109	102
少数株主持分	36,312	36,454
純資産合計	345,656	310,809
負債純資産合計	1,000,787	978,343

(2) 四半期連結損益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年1月1日 至平成22年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年1月1日 至平成23年6月30日)
売上高	676,166	663,132
売上原価	524,033	511,551
売上総利益	152,132	151,580
販売費及び一般管理費	117,102	110,037
営業利益	35,030	41,543
営業外収益		
受取利息	4,619	4,082
その他	11,516	8,964
営業外収益合計	16,136	13,046
営業外費用		
支払利息	4,478	3,577
その他	2,878	2,228
営業外費用合計	7,357	5,805
経常利益	43,808	48,784
特別利益		
固定資産売却益	191	199
その他	3	—
特別利益合計	195	199
特別損失		
固定資産売却損	63	56
固定資産処分損	359	253
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	552
災害による損失	—	274
その他	3	3
特別損失合計	426	1,140
税金等調整前四半期純利益	43,578	47,842
法人税、住民税及び事業税	18,608	14,741
法人税等調整額	△3,204	△364
法人税等合計	15,403	14,377
少数株主損益調整前四半期純利益	—	33,465
少数株主利益	4,398	4,504
四半期純利益	23,776	28,960

第2四半期連結会計期間

(単位:百万円)

	前第2四半期連結会計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第2四半期連結会計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
売上高	366,268	344,534
売上原価	282,674	266,041
売上総利益	83,593	78,493
販売費及び一般管理費	59,621	57,574
営業利益	23,971	20,919
営業外収益		
受取利息	2,215	1,911
その他	6,815	3,823
営業外収益合計	9,030	5,734
営業外費用		
支払利息	2,500	1,891
為替差損	—	897
販売金融資産評価差損	—	35
その他	2,213	1,352
営業外費用合計	4,713	4,178
経常利益	28,288	22,475
特別利益		
固定資産売却益	142	111
特別利益合計	142	111
特別損失		
固定資産売却損	33	27
固定資産処分損	255	113
災害による損失	—	102
その他	—	3
特別損失合計	289	247
税金等調整前四半期純利益	28,141	22,339
法人税、住民税及び事業税	11,003	6,252
法人税等調整額	△1,405	△1,716
法人税等合計	9,597	4,536
少数株主損益調整前四半期純利益	—	17,803
少数株主利益	2,279	2,288
四半期純利益	16,264	15,514

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年1月1日 至 平成22年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年1月1日 至 平成23年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	43,578	47,842
減価償却費	18,589	16,310
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△340	△1,290
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	2,235	2,594
製造物賠償責任引当金の増減額 (△は減少)	△98	△9,872
受取利息及び受取配当金	△5,245	△4,529
支払利息	4,478	3,577
有形及び無形固定資産売却損益 (△は益)	△128	△143
有形及び無形固定資産処分損益 (△は益)	359	253
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	552
売上債権の増減額 (△は増加)	△34,083	△10,264
たな卸資産の増減額 (△は増加)	16,061	8,360
仕入債務の増減額 (△は減少)	27,475	1,878
その他	7,907	△11,560
小計	80,789	43,709
利息及び配当金の受取額	5,685	5,490
利息の支払額	△4,511	△3,501
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	2,261	△20,173
営業活動によるキャッシュ・フロー	84,224	25,525
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△1,103	△1,271
定期預金の払戻による収入	1,554	2,535
有形及び無形固定資産の取得による支出	△15,209	△23,958
有形及び無形固定資産の売却による収入	1,402	703
その他	△41	△3,900
投資活動によるキャッシュ・フロー	△13,397	△25,891
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金及びコマーシャル・ペーパーの増減額 (△は減少)	△36,508	△6,526
長期借入れによる収入	19,562	2,961
長期借入金の返済による支出	△32,399	△6,831
株式の発行による収入	74,647	—
自己株式の増減額 (△は増加)	△1	△1
少数株主への配当金の支払額	△3,747	△4,924
その他	△111	△188
財務活動によるキャッシュ・フロー	21,441	△15,510
現金及び現金同等物に係る換算差額	△4,145	451
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	88,122	△15,425
現金及び現金同等物の期首残高	137,219	203,878
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	68	97
現金及び現金同等物の四半期末残高	225,410	188,550

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

【事業の種類別セグメント情報】

前第2四半期連結会計期間(自平成22年4月1日至平成22年6月30日)

(単位:百万円)

	二輪車事業	マリン事業	特機事業	その他の事業	計	消去又は 全社	連結
売上高							
(1) 外部顧客に 対する売上高	258,459	52,855	24,123	30,829	366,268	—	366,268
(2) セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	—	—	21,391	21,391	(21,391)	—
計	258,459	52,855	24,123	52,221	387,660	(21,391)	366,268
営業利益	14,232	2,960	1,010	5,768	23,971	0	23,971

(注) 1 事業区分の方法

事業区分は、製品の種類及び販売市場等の類似性に基づいています。

2 各事業区分に属する主要な製品

事業区分	主要な製品
二輪車	二輪車、海外生産用部品
マリン	船外機、ウォータービークル、ボート、プール、漁船・和船、ディーゼルエンジン
特機	四輪バギー、サイド・バイ・サイド・ビークル、スノーモバイル、ゴルフカー、発電機、除雪機、汎用エンジン
その他	サーフェスマウンター、産業用ロボット、自動車用エンジン、自動車用コンポーネント、自転車、産業用無人ヘリコプター、車椅子、中間部品

前第2四半期連結累計期間(自平成22年1月1日至平成22年6月30日)

(単位:百万円)

	二輪車事業	マリン事業	特機事業	その他の事業	計	消去又は 全社	連結
売上高							
(1) 外部顧客に 対する売上高	476,488	95,816	44,405	59,456	676,166	—	676,166
(2) セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	—	—	41,142	41,142	(41,142)	—
計	476,488	95,816	44,405	100,598	717,308	(41,142)	676,166
営業利益又は 営業損失(△)	26,039	4,167	△4,157	8,981	35,030	0	35,030

(注) 1 事業区分の方法 前第2四半期連結会計期間に同じ

2 各事業区分に属する主要な製品 前第2四半期連結会計期間に同じ

【所在地別セグメント情報】

前第2四半期連結会計期間(自平成22年4月1日至平成22年6月30日)

(単位:百万円)

	日本	北米	欧州	アジア	その他	計	消去又は 全社	連結
売上高								
(1) 外部顧客に 対する売上高	57,629	47,967	56,991	167,737	35,942	366,268	—	366,268
(2) セグメント間の 内部売上高又は 振替高	81,755	2,771	917	11,485	260	97,190	(97,190)	—
計	139,384	50,738	57,909	179,223	36,202	463,459	(97,190)	366,268
営業利益	3,247	1,259	842	16,192	2,422	23,965	6	23,971

(注) 1 国又は地域の区分は、地理的近接度によっています。

2 各区分に属する主な国又は地域

(1) 北米 …… 米国、カナダ

(2) 欧州 …… オランダ、フランス、イタリア、スペイン、ロシア

(3) アジア …… インドネシア、ベトナム、タイ、台湾、中国、シンガポール、インド

(4) その他 …… ブラジル、オーストラリア、コロンビア、メキシコ

前第2四半期連結累計期間(自平成22年1月1日至平成22年6月30日)

(単位:百万円)

	日本	北米	欧州	アジア	その他	計	消去又は 全社	連結
売上高								
(1) 外部顧客に 対する売上高	109,198	86,650	100,584	312,526	67,207	676,166	—	676,166
(2) セグメント間の 内部売上高又は 振替高	158,986	6,224	1,658	22,727	448	190,044	(190,044)	—
計	268,184	92,874	102,243	335,253	67,655	866,211	(190,044)	676,166
営業利益又は 営業損失(△)	739	△3,368	2,538	31,828	2,267	34,006	1,023	35,030

(注) 1 国又は地域の区分は、地理的近接度によっています。

2 各区分に属する主な国又は地域 …… 前第2四半期連結会計期間に同じ

【海外売上高】

前第2四半期連結会計期間(自平成22年4月1日至平成22年6月30日)

(単位:百万円)

	北米	欧州	アジア	その他	計
I 海外売上高	48,501	57,917	176,989	45,191	328,600
II 連結売上高					366,268
III 連結売上高に占める海外売上高の割合	13.2%	15.8%	48.3%	12.4%	89.7%

(注) 1 国又は地域の区分は、地理的近接度によっています。

2 各区分に属する主な国又は地域

(1) 北米 …… 米国、カナダ

(2) 欧州 …… フランス、イタリア、ドイツ、英国、ロシア

(3) アジア …… インドネシア、ベトナム、タイ、中国、台湾、インド

(4) その他 …… ブラジル、オーストラリア、南アフリカ

3 海外売上高は、当社及び連結子会社の日本以外の国又は地域における売上高です。

前第2四半期連結累計期間(自平成22年1月1日至平成22年6月30日)

(単位:百万円)

	北米	欧州	アジア	その他	計
I 海外売上高	87,545	102,910	327,918	85,029	603,404
II 連結売上高					676,166
III 連結売上高に占める海外売上高の割合	12.9%	15.2%	48.5%	12.6%	89.2%

(注) 1 国又は地域の区分は、地理的近接度によっています。

2 各区分に属する主な国又は地域 …… 前第2四半期連結会計期間に同じ

3 海外売上高は、当社及び連結子会社の日本以外の国又は地域における売上高です。

【セグメント情報】

1 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会等が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものです。

当社は、製品の種類及び販売市場等の類似性に基づき、「二輪車」、「マリン」、「特機」の3つを報告セグメントとしています。

各報告セグメントの主要な製品は以下のとおりです。

報告セグメント	主要な製品
二輪車	二輪車、海外生産用部品、中間部品
マリン	船外機、ウォータービークル、ボート、プール、漁船・和船、ディーゼルエンジン
特機	四輪バギー、サイド・バイ・サイド・ビークル、スノーモバイル、ゴルフカー、発電機、除雪機、汎用エンジン

2 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

当第2四半期連結累計期間（自 平成23年1月1日 至 平成23年6月30日）

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	二輪車	マリン	特機	計				
売上高								
外部顧客への売上高	462,264	102,041	44,765	609,072	54,060	663,132	—	663,132
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	13,437	13,437	△13,437	—
計	462,264	102,041	44,765	609,072	67,497	676,569	△13,437	663,132
セグメント利益	23,564	5,870	5,656	35,091	6,451	41,543	0	41,543

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、サーフェスマウンター、産業用ロボット、自動車用エンジン、自動車用コンポーネント、電動アシスト自転車、産業用無人ヘリコプター、車椅子の製造及び販売を行う事業を含んでいます。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しています。

当第2四半期連結会計期間（自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日）

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	二輪車	マリン	特機	計				
売上高								
外部顧客への売上高	242,533	51,405	23,035	316,974	27,560	344,534	—	344,534
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	7,015	7,015	△7,015	—
計	242,533	51,405	23,035	316,974	34,575	351,549	△7,015	344,534
セグメント利益	10,277	1,668	5,063	17,009	3,909	20,919	0	20,919

(注) 1 「その他」の区分 …… 当第2四半期連結累計期間と同じ

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しています。

(追加情報)

第1四半期連結会計期間より、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」(企業会計基準第17号 平成21年3月27日)及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日)を適用しています。

当該会計基準等に準拠した場合の前年同四半期連結累計期間及び前年同四半期連結会計期間に係るセグメント情報は以下のとおりです。

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前第2四半期連結累計期間(自平成22年1月1日至平成22年6月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	二輪車	マリン	特機	計				
売上高								
外部顧客への売上高	480,473	95,816	44,405	620,694	55,471	676,166	—	676,166
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	14,172	14,172	△14,172	—
計	480,473	95,816	44,405	620,694	69,643	690,338	△14,172	676,166
セグメント利益又は損失(△)	29,525	4,167	△4,157	29,534	5,495	35,030	0	35,030

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、サーフェスマウンター、産業用ロボット、自動車用エンジン、自動車用コンポーネント、自転車、産業用無人ヘリコプター、車椅子の製造及び販売を行う事業を含んでいます。

前第2四半期連結会計期間(自平成22年4月1日至平成22年6月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	二輪車	マリン	特機	計				
売上高								
外部顧客への売上高	260,365	52,855	24,123	337,344	28,924	366,268	—	366,268
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	7,445	7,445	△7,445	—
計	260,365	52,855	24,123	337,344	36,369	373,713	△7,445	366,268
セグメント利益	16,199	2,960	1,010	20,170	3,801	23,971	0	23,971

(注) 「その他」の区分 …… 前第2四半期連結累計期間と同じ

(参考情報)

所在地別情報

当第2四半期連結累計期間(自平成23年1月1日至平成23年6月30日)

(単位:百万円)

	日本	北米	欧州	アジア	その他	計	消去又は 全社	連結
売上高								
外部顧客への 売上高	102,882	88,050	88,642	305,508	78,047	663,132	—	663,132
所在地間の 内部売上高又は 振替高	147,174	8,152	2,821	26,790	554	185,493	△185,493	—
計	250,057	96,203	91,464	332,298	78,601	848,625	△185,493	663,132
営業利益又は 営業損失(△)	△5,195	5,799	2,410	29,856	8,884	41,755	△212	41,543

(注) 1 国又は地域の区分は、地理的近接度によっています。

2 各区分に属する主な国又は地域

(1) 北米 …… 米国、カナダ

(2) 欧州 …… オランダ、フランス、イタリア、スペイン、ロシア

(3) アジア …… インドネシア、タイ、ベトナム、中国、台湾、シンガポール、インド

(4) その他 …… ブラジル、オーストラリア、コロンビア、メキシコ

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

平成23年3月24日開催の第76期定時株主総会決議に基づき、資本準備金23,814百万円、利益準備金3,775百万円を減少させ、それぞれその他資本剰余金と繰越利益剰余金に振替えるとともに、その他資本剰余金のうち23,565百万円を繰越利益剰余金に振替え、第1四半期連結会計期間において欠損を填補しました。

(7) その他の注記事項

(四半期連結損益計算書関係)

当第2四半期連結累計期間(自平成23年1月1日至平成23年6月30日)

特別損失の「災害による損失」には、平成23年3月に発生した東日本大震災による損失を計上しており、これは主として被災した資産の修繕、被災地への支援物資に係る費用及び義援金です。

当第2四半期連結会計期間(自平成23年4月1日至平成23年6月30日)

特別損失の「災害による損失」には、平成23年3月に発生した東日本大震災による損失を計上しており、これは主として被災地への支援物資に係る費用及び義援金です。

4. (参考) 四半期個別財務諸表
 (1) (要約) 四半期貸借対照表

(単位：百万円)

	当第2四半期会計期末 (平成23年6月30日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成22年12月31日)
資産の部		
流動資産	248,430	248,516
固定資産	265,087	265,432
資産合計	513,518	513,948
負債の部		
流動負債	164,500	155,033
固定負債	165,803	186,310
負債合計	330,304	341,343
純資産の部		
株主資本		
資本金	85,666	85,666
資本準備金	73,941	97,756
その他資本剰余金	640	391
利益準備金	—	3,775
特別償却準備金	18	22
圧縮記帳積立金	326	327
繰越利益剰余金	11,102	△27,690
自己株式	△641	△640
評価・換算差額等	12,050	12,893
新株予約権	109	102
純資産合計	183,214	172,604
負債純資産合計	513,518	513,948

(2) (要約) 四半期損益計算書

(単位：百万円)

	当第2四半期累計期間 (自平成23年1月1日 至平成23年6月30日)	前第2四半期累計期間 (自平成22年1月1日 至平成22年6月30日)
売上高	222,178	240,552
売上原価	196,766	206,913
売上総利益	25,411	33,639
販売費及び一般管理費	32,910	38,502
営業損失(△)	△7,498	△4,863
営業外収益	25,984	19,197
営業外費用	3,154	4,279
経常利益	15,332	10,054
特別利益	65	43
特別損失	880	94
税引前四半期純利益	14,516	10,004
法人税等	3,070	2,804
四半期純利益	11,446	7,199

(注) 上記の四半期個別財務諸表は、「四半期財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第63号)に基づいて作成した四半期財務諸表の一部科目を集約して表示しており、金融商品取引法に基づく四半期レビュー対象ではありません。